

中国産業概観 【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

2022年1月
みずほ銀行(中国)有限公司
中国アドバイザリー部

MIZUHO

中国自動車業界レポート(2021年12月)

1 自動車生産・販売台数

1.1 中国自動車・生産台数 2

1.2 乗用車市場 3-5

1.3 高級車市場 6

1.4 日系三強 7

1.5 NEV 8-10

1.6 商用車市場 11

2 在庫 12

3 新たに発売されたモデル 13

4 業界動向 14

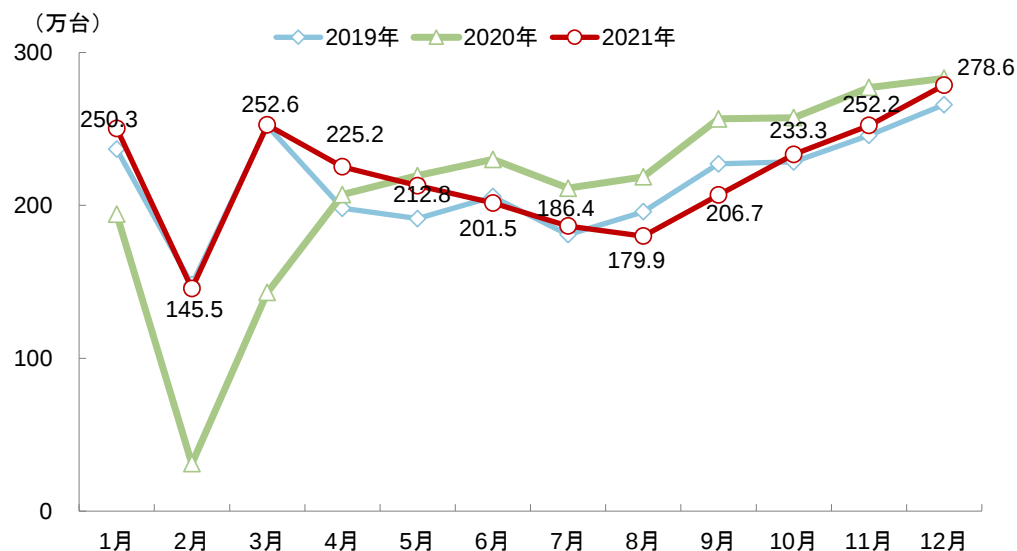
5 中古車市場 15

1.1 自動車生産・販売台数

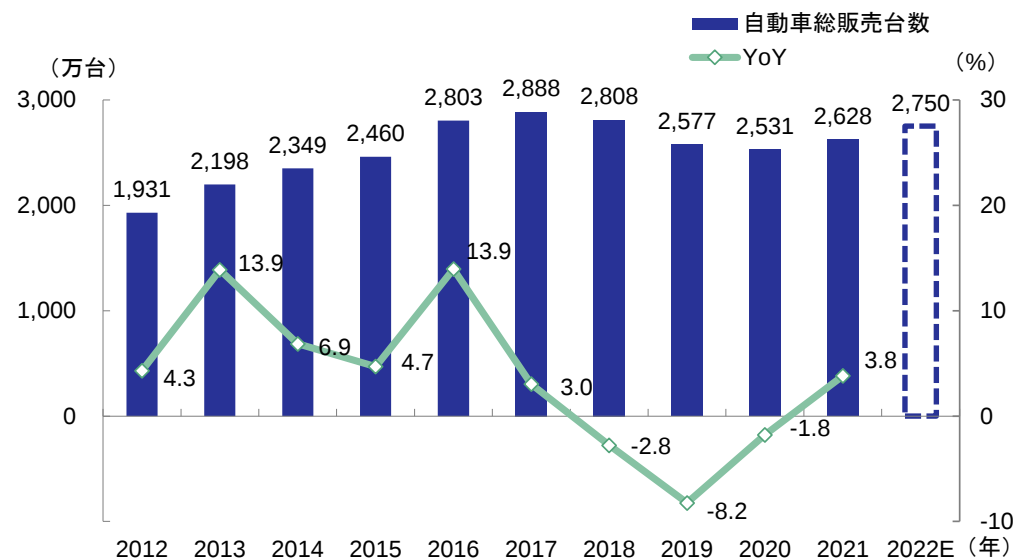
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **自動車生産・販売台数**: 2021年12月の中国自動車生産台数は前年同月比2.4%増、前月比12.5%増の290.7万台、販売台数は前年同月比1.6%減、前月比10.5%増の278.6万台。通年での販売台数は前年比3.8%増の2,627.5万台と、4年ぶりのプラス成長となった。中国の自動車販売台数は13年連続世界第1位、さらに今年はNEV分野で大きな成長を見せた。
 - ✓ 乗用車: 12月の販売台数は前年同月比2.0%増、前月比10.5%増の242.2万台。通年では前年比6.5%増の2,148.2万台。
 - ✓ 商用車: 12月の販売台数は前年同月比20.1%減、前月比10.5%増の36.4万台。通年では前年比6.6%減の479.3万台。
- **輸出**: 12月のメーカー輸出台数は前年同月比54.0%増の22.3万台。通年では前年比2倍の201.5万台。うち、乗用車が161.4万台、商用車は40.2万台。
- **2022年の予測**: 中国汽車工業協会は、2022年の自動車新車販売台数を前年比約5%増の2,750万台と予測。うち、NEVは同42%増の500万台、新車販売に占める割合は18%まで拡大する見込み。

中国自動車月次販売台数(2019-2021)



中国自動車年間販売台数推移(2012-2022年)



出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場①

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- 販売台数ランキング: 中国乗用車市場情報協会の発表した2021年12月の乗用車小売台数は210.5万台、Top15社のうち、10社は前年同月比マイナス、プラスとなったのは、Tesla、BYD、広汽トヨタ、一汽トヨタ、長城汽車。特にTeslaが+196.6%と最大の伸びを見せNEVの販売急増をけん引。
- 2021年通年では、Top15社のうち、部品不足やCovid-19の再流行などの影響で計7社が前年比減。うち、一汽VWは最大の下げ幅となった(-15.7%)。

乗用車メーカー販売台数Top15

No.	メーカー	2020.12 (万台)	2021.12 (万台)		
				前年同月比	市場シェア
1	一汽VW	24.01	15.62	-34.9%	7.4%
2	吉利汽車	14.23	14.16	-0.5%	6.7%
3	上汽VW	16.21	14.05	-13.3%	6.7%
4	長城汽車	12.24	12.54	2.5%	6.0%
5	東風日産	14.43	11.41	-20.9%	5.4%
6	上汽GM五菱	12.87	11.05	-14.1%	5.2%
7	一汽トヨタ	8.34	10.61	27.3%	5.0%
8	上汽GM	16.22	10.30	-36.5%	4.9%
9	広汽トヨタ	7.44	10.01	34.4%	4.8%
10	BYD	5.50	9.78	77.8%	4.6%
11	東風ホンダ	11.08	8.77	-20.8%	4.2%
12	広汽ホンダ	9.80	8.15	-16.8%	3.9%
13	長安汽車	8.80	7.16	-18.6%	3.4%
14	Tesla	2.38	7.06	196.6%	3.4%
15	奇瑞汽車	9.26	6.89	-25.6%	3.3%
Top15 合計		172.81	157.56	-8.8%	74.9%

No.	メーカー	2020年 (万台)	2021年 (万台)		
				前年比	市場シェア
1	一汽VW	211.03	177.84	-15.7%	8.8%
2	上汽VW	156.80	145.71	-7.1%	7.2%
3	上汽GM	140.66	127.73	-9.2%	6.3%
4	吉利汽車	124.75	121.30	-2.8%	6.0%
5	東風日産	121.19	113.49	-6.4%	5.6%
6	長安汽車	94.21	111.60	18.5%	5.5%
7	上汽GM五菱	81.82	96.69	18.2%	4.8%
8	長城汽車	83.64	94.88	13.4%	4.7%
9	一汽トヨタ	78.76	84.63	7.5%	4.2%
10	広汽トヨタ	76.03	84.04	10.5%	4.2%
11	東風ホンダ	82.04	79.33	-3.3%	3.9%
12	広汽ホンダ	80.65	77.04	-4.5%	3.8%
13	BYD	41.72	72.37	73.5%	3.6%
14	華晨BMW	60.22	65.12	8.1%	3.2%
15	奇瑞汽車	51.55	59.92	16.3%	3.0%
Top15 合計		1,485.07	1511.69	1.8%	75.0%

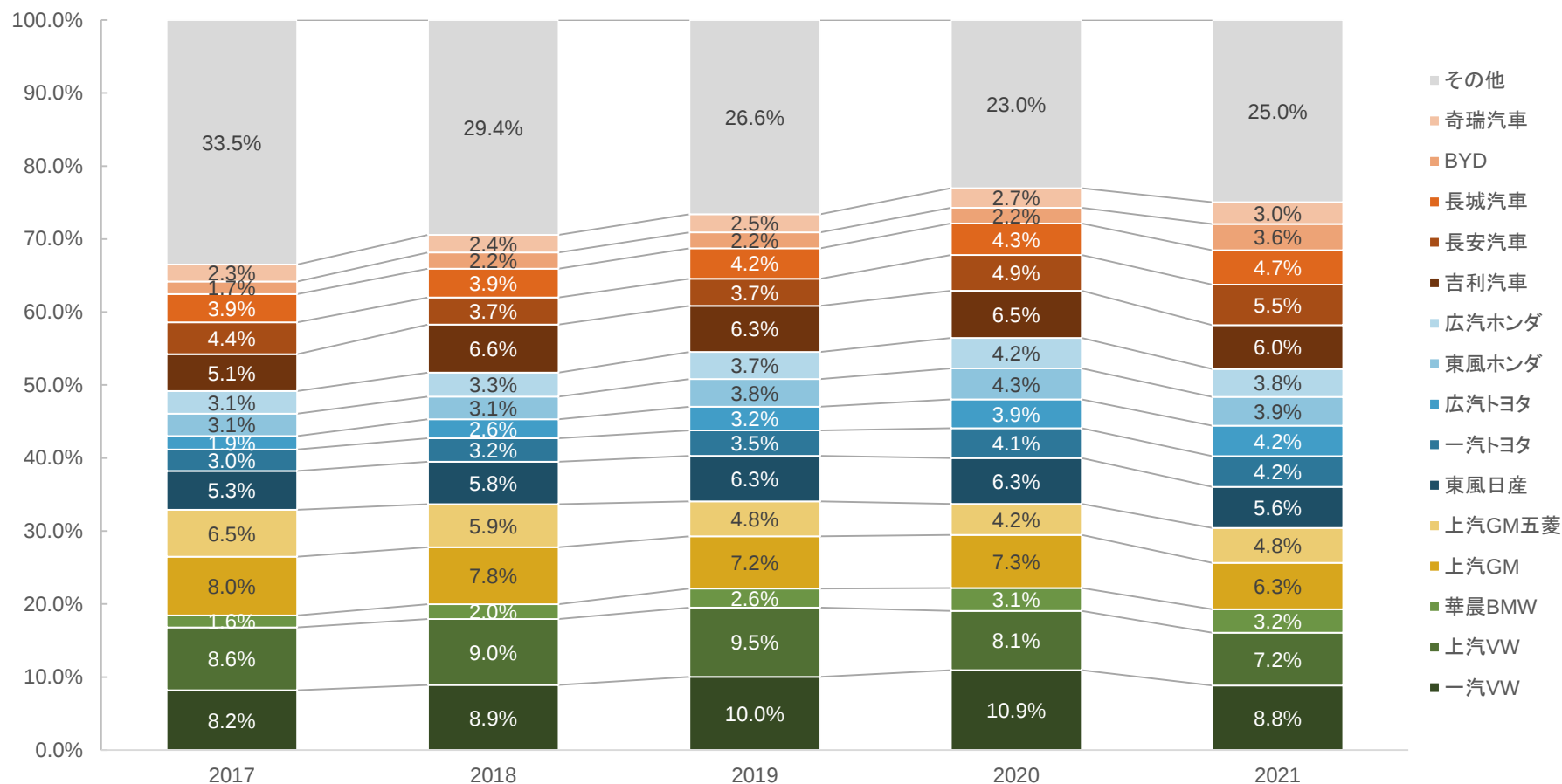
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.2 乗用車市場②

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **中資系のシェア拡大**: 直近2年、Covid-19の影響や部品不足などにより、上汽VW、上汽GMなどの合弁系メーカーが徐々にシェアを落としつつある。一方で、長安汽車、長城汽車、BYD等の中資系のシェアが拡大している。今後、NEVの販売が加速するにつれ、中資系メーカーのシェアはますます拡大することが期待される。

乗用車メーカー販売台数Top15社によるシェア推移



出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

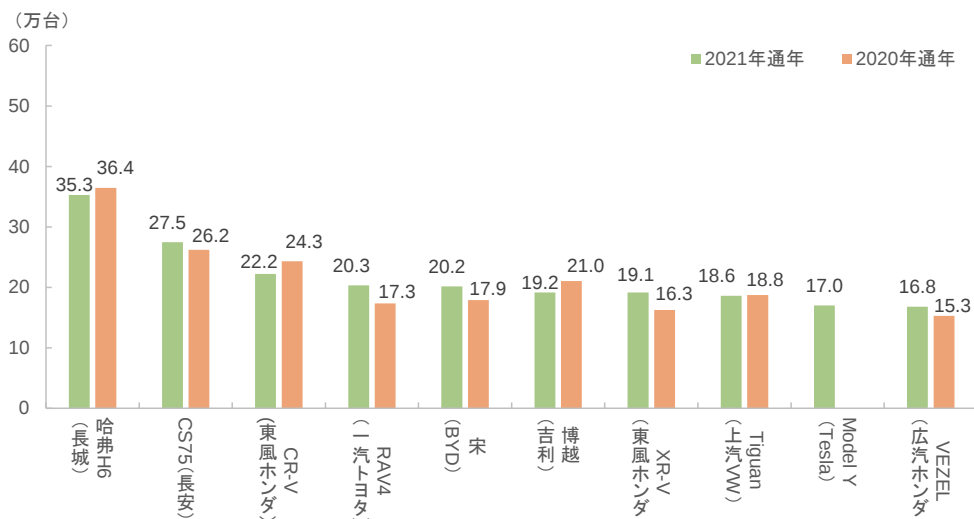
1.2 乗用車市場③

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

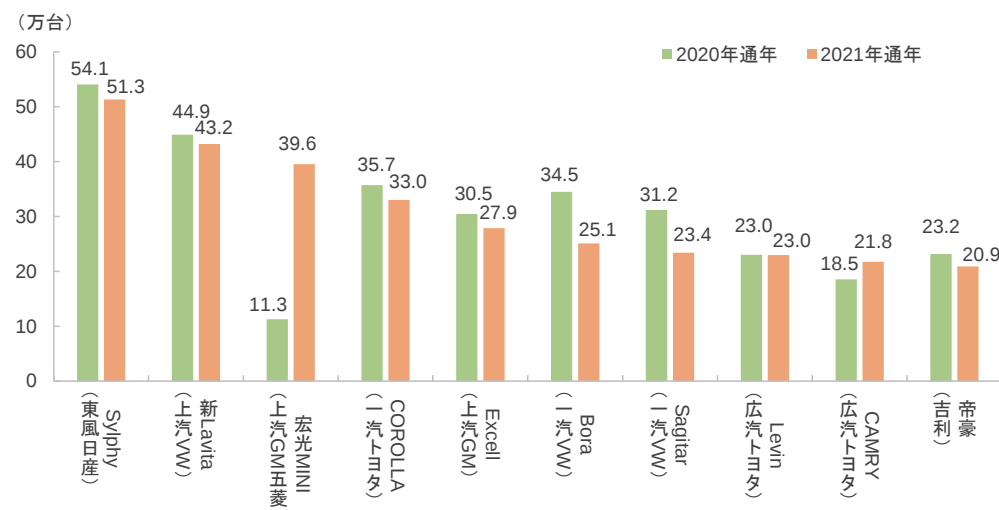
■ 乗用車タイプ別Top10:

- ✓ セダン: 2021年、日産Sylphyは販売台数こそ小幅減となったもののトップの座を維持。宏光MINIが前年比251%増で第3位。セダン総販売台数のCR10は31.4%。
- ✓ SUV: 哈弗H6も販売台数こそ落としたが引き続きトップ。長安CS75、RAV4、BYD宋、XR-Vは前年比プラスとなった。SUV総販売台数のCR10は23.4%。
- ✓ MPV: トップを維持した五菱宏光が前年比11%減となったが、MPV総販売台数の23.4%と人気は圧倒的。Top10のうち、五菱凱捷、传祺M8、传祺M6、Elysion等が前年比プラス、特に五菱凱捷は前年比347.1%増と大きく伸びた。MPV総販売台数のCR10は74.0%。

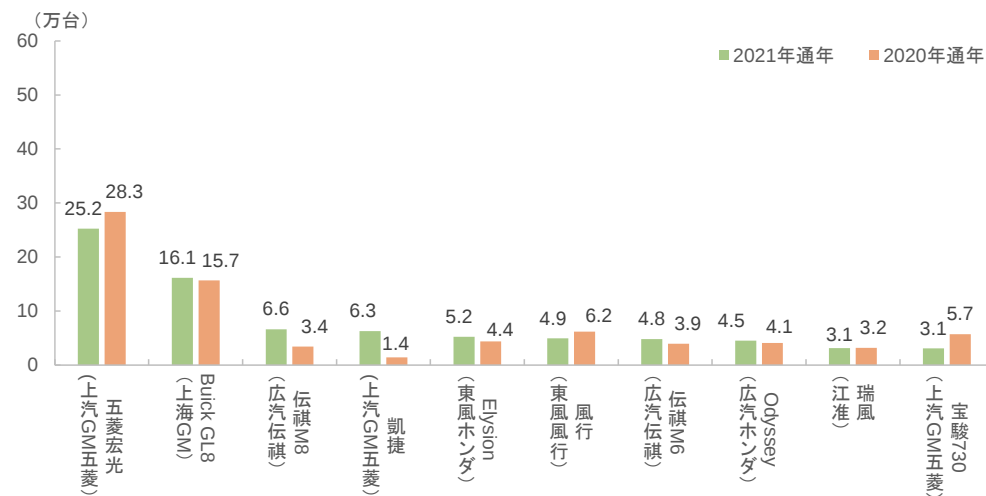
SUV販売台数Top10(2021年通年)



セダン販売台数Top10(2021年通年)



MPV販売台数Top10(2021年通年)



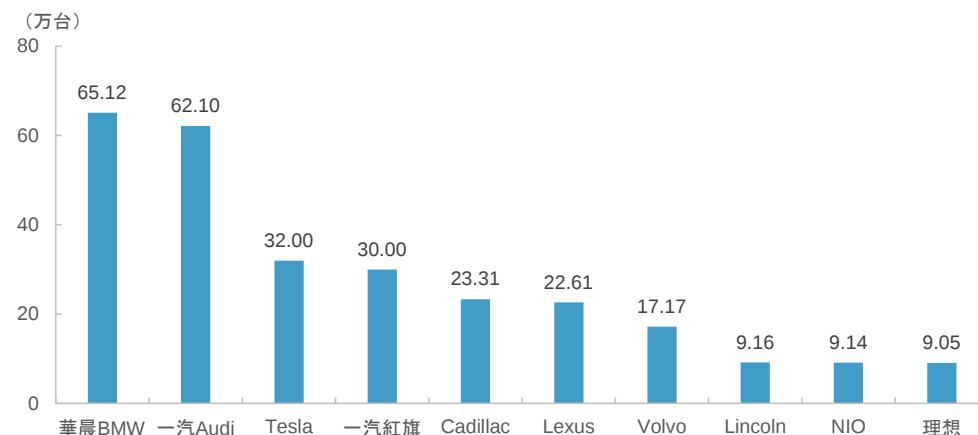
出所: 中国乗用車市場情報協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

1.3 高級車市場

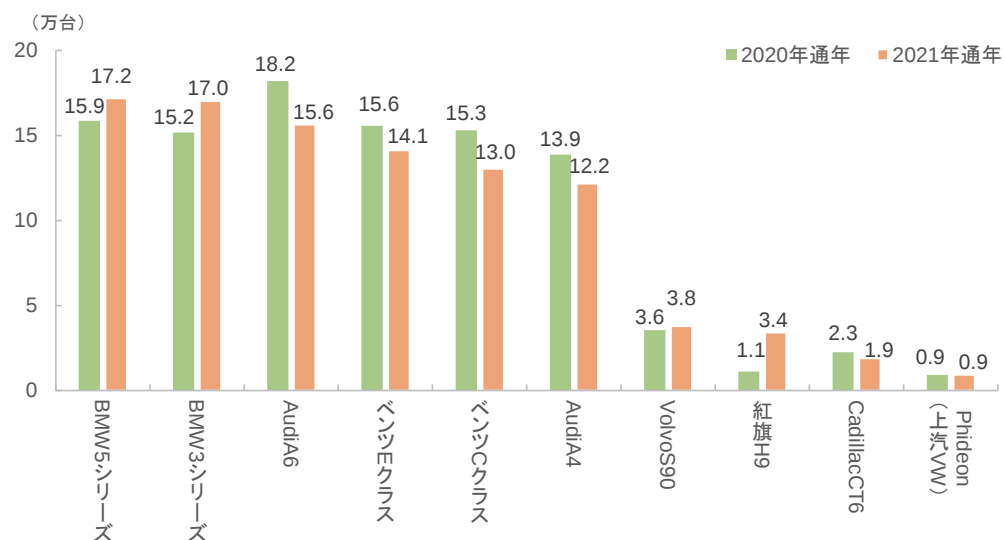
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **高級車市場**: 2021年12月、国産高級車販売台数は前年同月比3%減、前月比18%増の25万台。高級車市場は全体的に安定、販売台数は伸びの態勢を崩していない。
- **タイプ別販売台数**:
 - ✓ セダン: BMW5シリーズ、BMW3シリーズは前年比プラスとなり、1位、2位を占めた。Audi A6は前年比14.1%減で第3位。第7位の紅旗H9は前年比201.7%と大きく伸びた。
 - ✓ SUV: Model Yは販売から1年満たずして第1位。理想ONEは前年比177.6%増で第5位、NIO ES6は第10位とNEVのシェアが急拡大している。

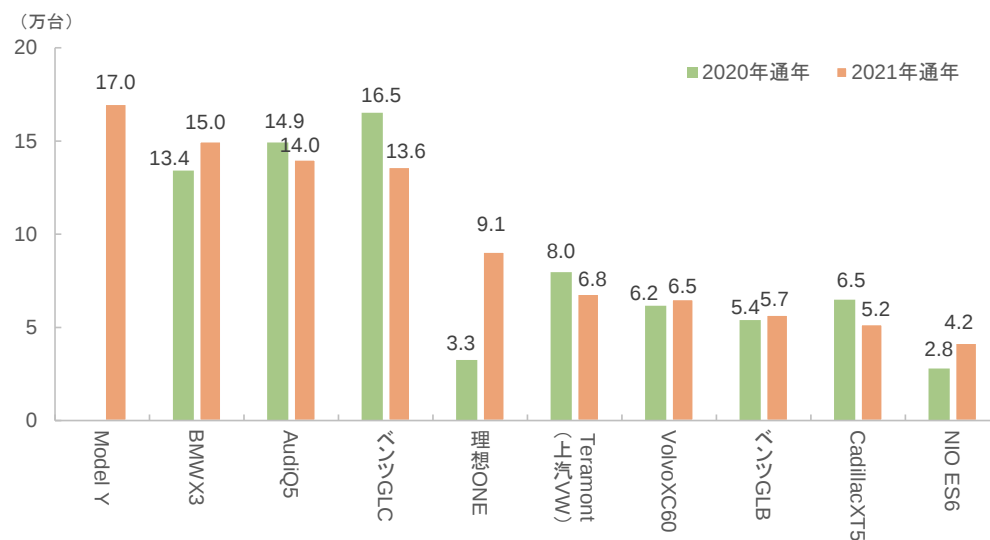
高級車メーカー販売台数(一部、2021年11月)



高級セダン販売台数Top10(2021年)



高級SUV販売台数Top10(2021年)



備考: 高級車は指導販売価格30万円以上の車両を指す

出所: 新浪汽車の情報に基づき、中国乗用車市場情報联席会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

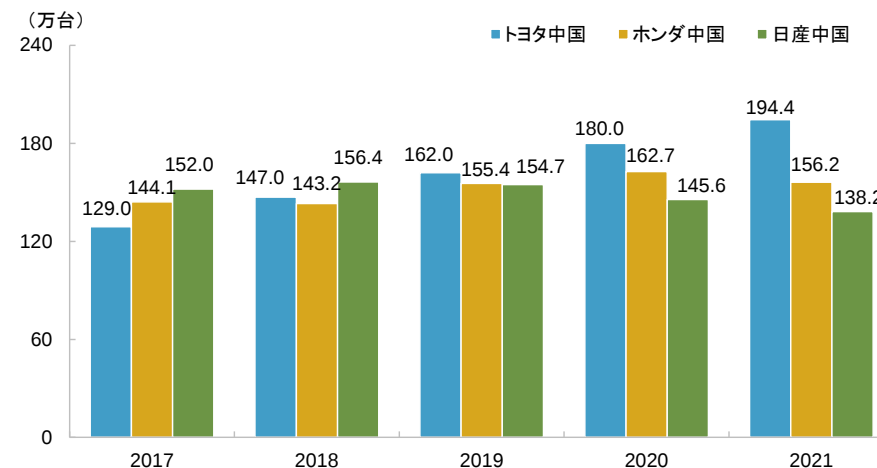
1.4 日系三強

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

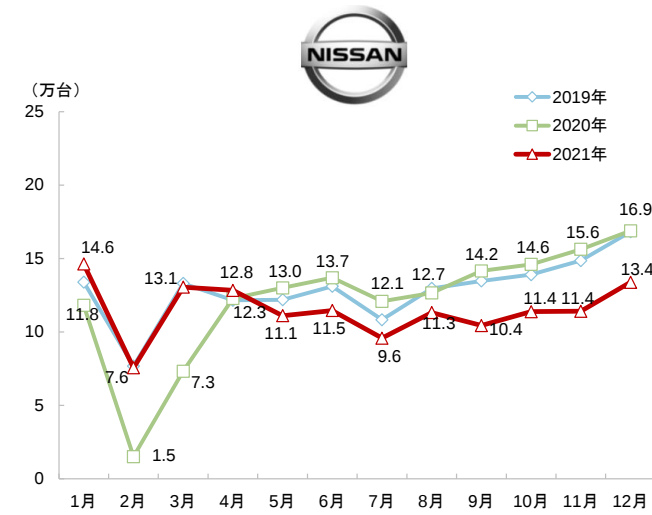
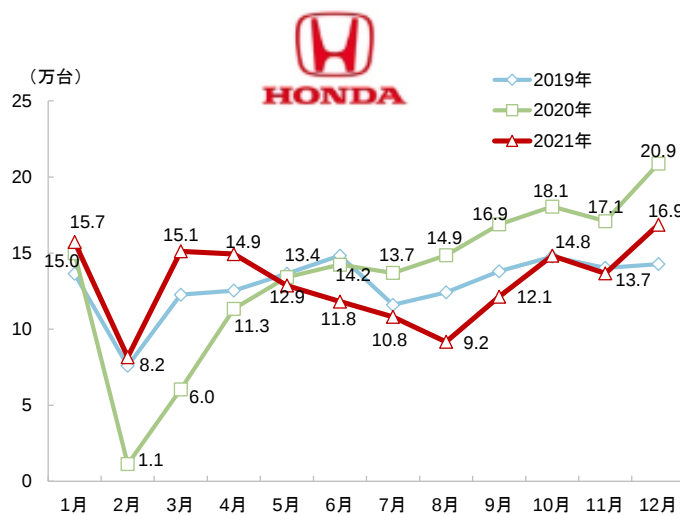
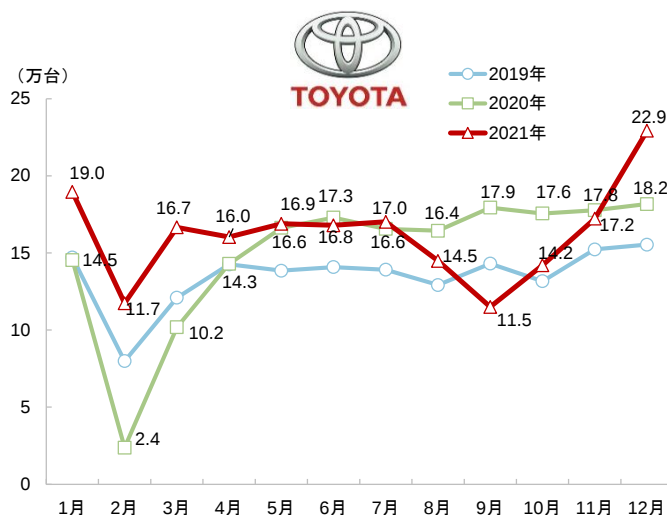
■ 日系三強:12月の各社販売台数は大きく明暗が分かれた。トヨタは前年同月比大きく伸ばした一方で、ホンダと日産は減速が続く。

- ✓ トヨタ中国の12月販売台数は前年同月比26.1%増の22.92万台、部品を確保していたことが大きく寄与。通年では前年比8.2%増の194.40万台。一汽トヨタ、広汽トヨタ共に同8%以上の伸びとなった。
- ✓ ホンダ中国の12月販売台数は前年同月比19.2%減の16.87万台、通年では前年比4.0%減の156.15万台、PHEVは同110%の伸びとなった。うち広汽ホンダは76.83万台、東風ホンダは79.33万台。
- ✓ 日産中国の12月販売台数は前年同月比20.8%減の13.38万台、通年では前年比5.2%減の138.15万台。うち東風日産は113.49万台と7年連続で百万台を突破、Sylphyの販売台数は51.12万台。

日系三強の販売台数(2017~2021)



日系三強の月次販売台数(2019-2021年)



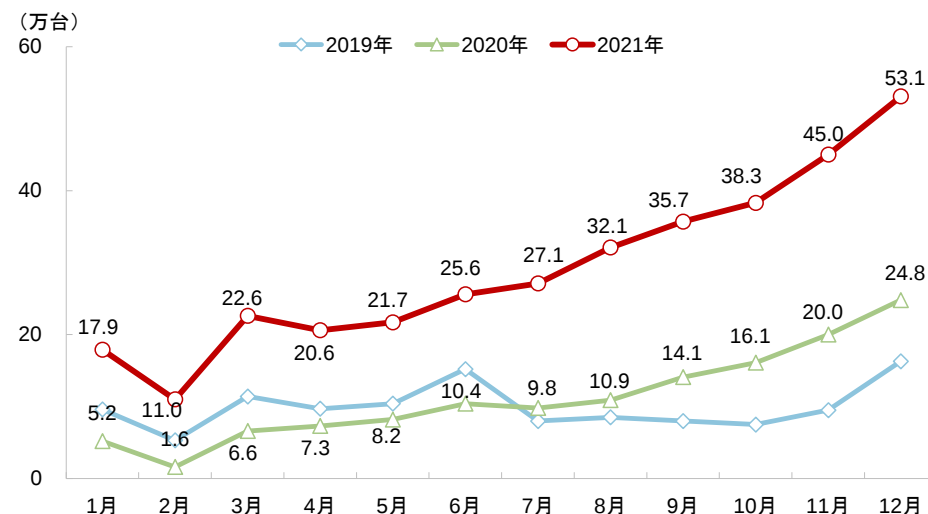
出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

1.5 NEV①

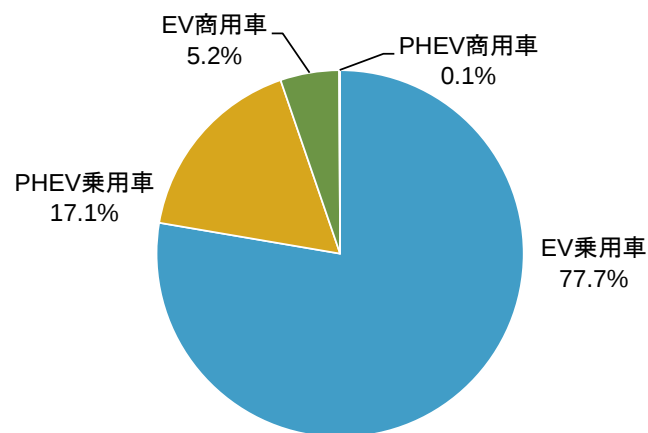
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **NEV生産・販売台数**: 12月のNEV販売台数は前年同月比2.1倍の53.1万台、うちEVは同2.1倍の44.8万台、PHEVは同2.2倍の8.2万台。
 - ✓ 2021年の累計生産台数は354.5万台、販売台数は352.1万台、ともに2.6倍増。
 - ✓ 販売台数構成比ではEV乗用車が77.7%、PHEV乗用車が17.1%。
- **メーカー別シェア**: 2021年、中国メーカー別NEV販売台数CR10は59.2%、うち最大はBYDの16.6%(58.4万台)、次いで上汽GM五菱が12.2%(43.11万台)。

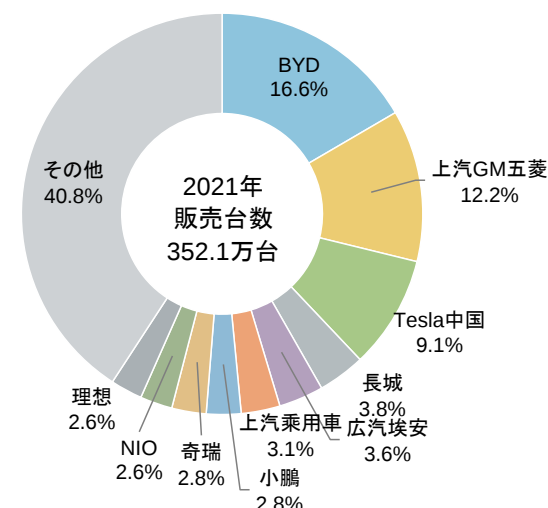
中国NEV月次販売台数(2019-2021)



タイプ別NEV販売台数構成比(2021年)



中国NEV販売台数Top10(2021年)



出所: 中国自動車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

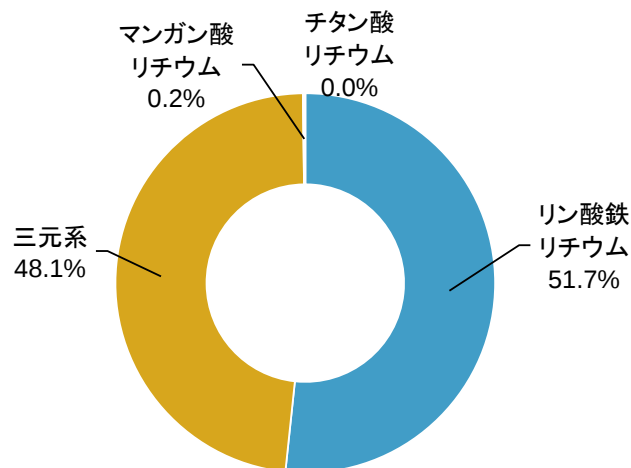
出所: 中国乗用車市場情報協会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV②

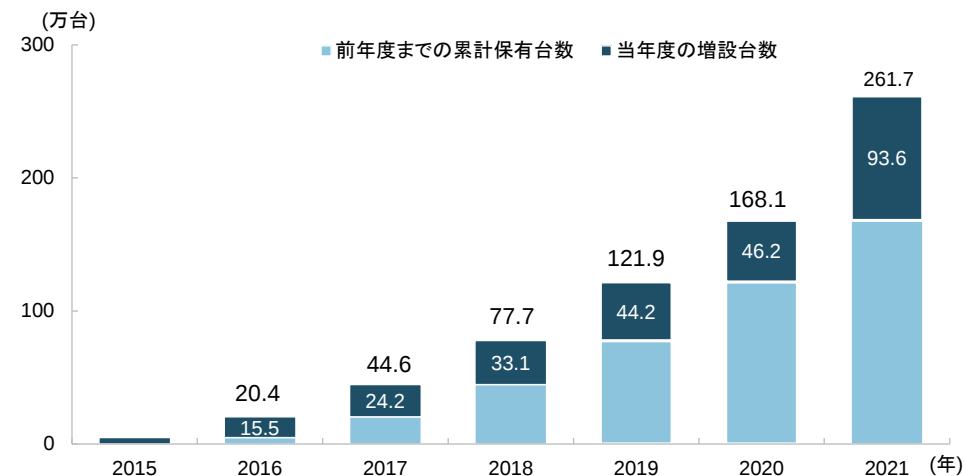
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **充電インフラ**: 2021年12月時点、中国のインフラ設備累計台数は前年同月比70.1%増の261.7万台。うち、公共用充電スタントは114.7万台、個人用は147万台。1万台以上を運営する事業者は13社、公共用スタンドにおけるCR13は92.9%。
- **動力電池**: 2021年12月、中国における動力電池搭載容量は前年同月比102.4%増の26.2GWh、2021年累計では前年比142.8%増の154.5GWh。構成比ではリン酸鉄リチウムが51.7%と三元系を抜き最大となった。
 - ✓ 2021年、合計58社の動力電池が搭載、うちTop10社による搭載容量は142.5GWh、CR10は92.3%。CATLのシェアは52.1%に達している。

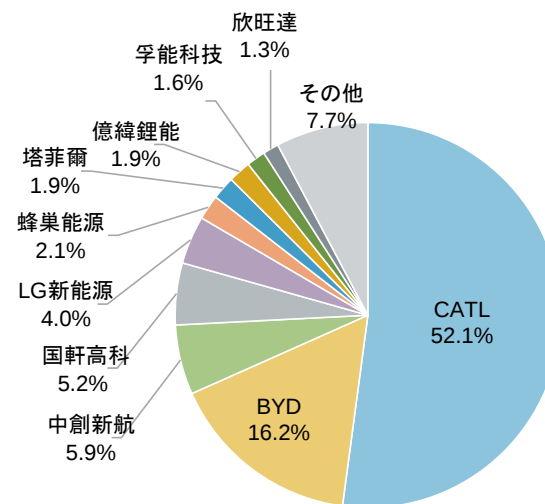
動力電池搭載容量構成比(2021年)



中国充電スタンドの増設状況



メーカー別シェア(2021年)



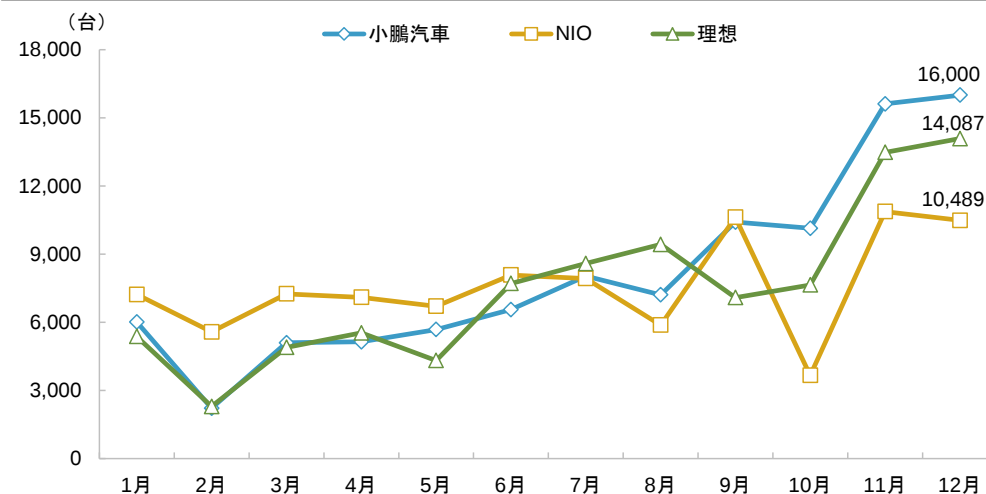
出所: 充電聯盟、中国自動車動力電池産業創新聯盟の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

1.5 NEV③

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

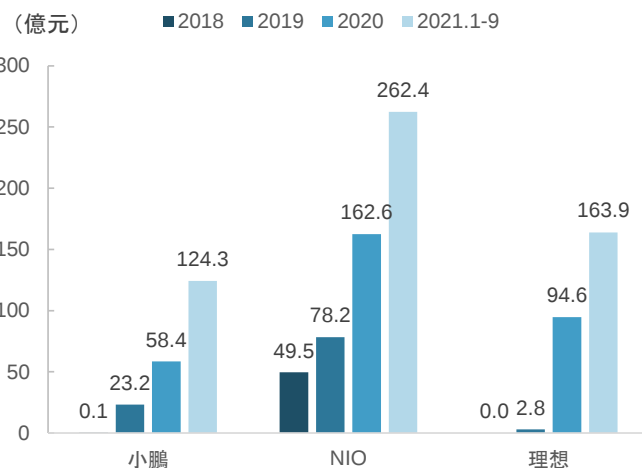
- **新興メーカー**: 2021年、新興勢力Top3である小鹏、NIO、理想の販売台数は月を追うごとに拡大、12月にはともに1万台を突破。通年では小鹏が前年比263%増の9.81万台、NIOは同109.1%増の9.14万台、理想は同177.4%増の9.05万台。
- **財務状況**: 販売台数の拡大に伴い、業績も改善している。
 - ✓ 2021年Q1-Q3、売上高が最大なのはNIO(262.4億元)、伸びが最大なのは小鹏(+315.4%)。
 - ✓ 2021年Q1-Q3、R&D投資は3社ともに20億元以上、売上の伸びとともにR&D比率は安定。
 - ✓ 赤字額は縮小、粗利益率はプラスに転じ、収益力は改善中。

小鹏、NIO、理想の月次販売台数推移(2021年)

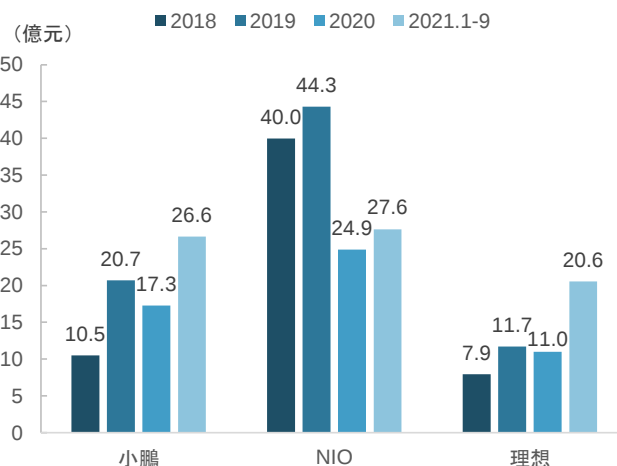


小鹏、NIO、理想の主な財務指標(2018-2021年)

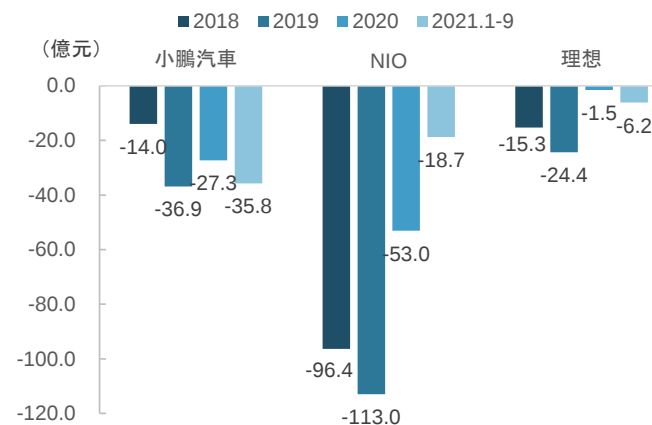
売上高



R&D投資



純損失



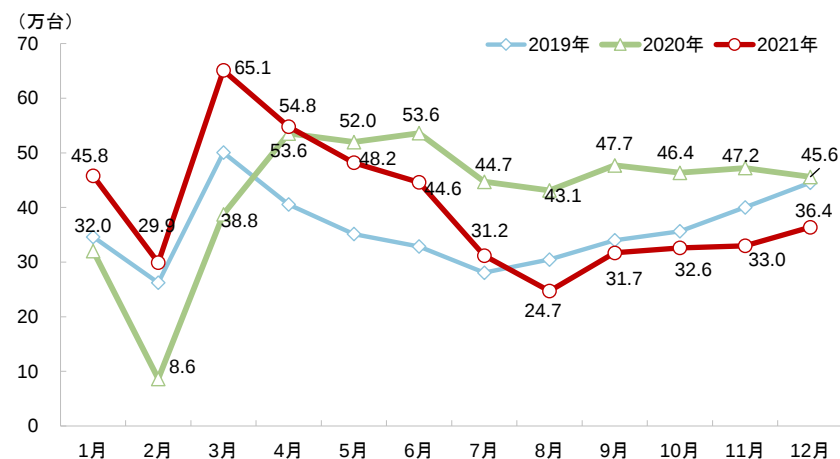
出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

1.6 商用車市場

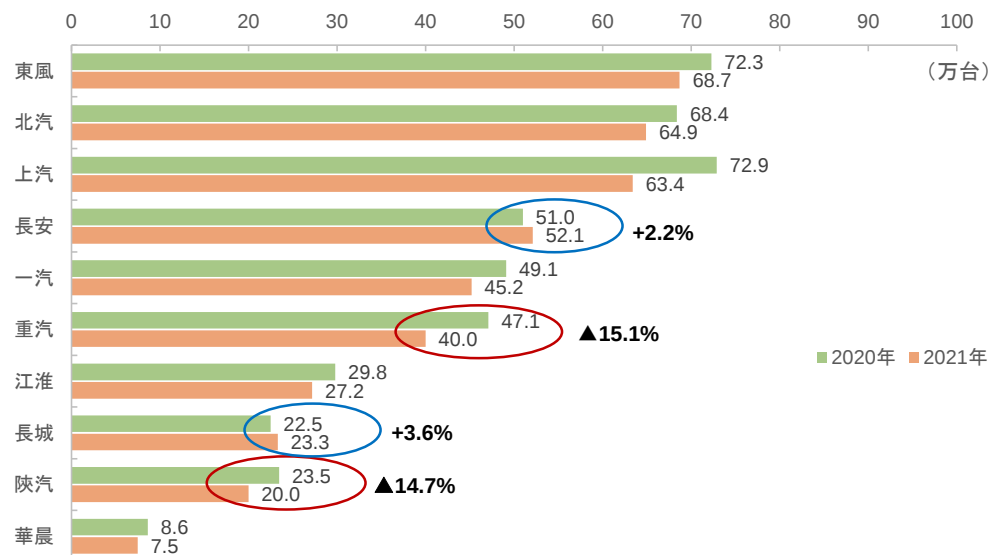
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **商用車の生産・販売台数**: 2021年12月の商用車生産台数は前年同月比25.3%減の38.0万台、販売台数は20.1%減の36.4万台と下げ幅は11月より縮小した。2021年通年の生産台数は前年比10.7%減の467.4万台、同6.6%減の479.3万台。政策及び環境から見て、商用車は調整段階に入ったと言える。
- **メーカー別**: 2021年、商用車販売台数Top10社のうち、長安と長城が前年比プラスとなった他は全てマイナスとなった。特に中国重汽(-15.1%)と陝汽集団(-14.7%)の下げ幅が大きい。
- **車種別**: 車種別では、小型トラックが211万台、全体の44%を占める。次いで大型トラック(139.5万台、29.1%)、バスは50.5万台でシェアはわずか10.5%。

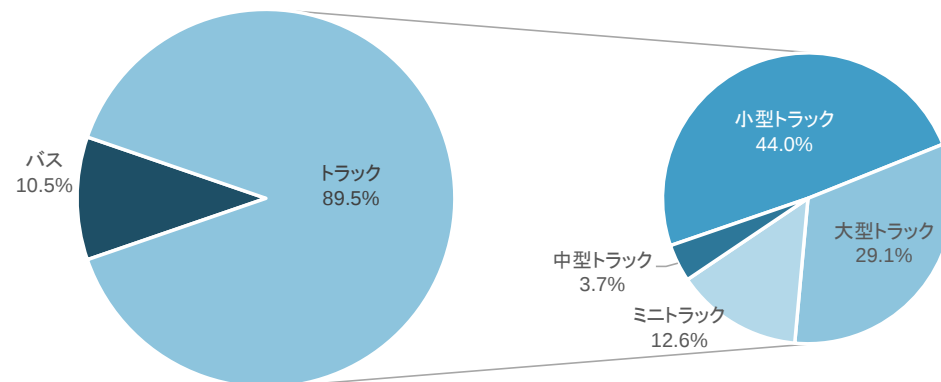
中国商用車月次販売台数(2019-2021)



中国商用車販売台数Top10社(2021年)



商用車車種別市場シェア(2021年)



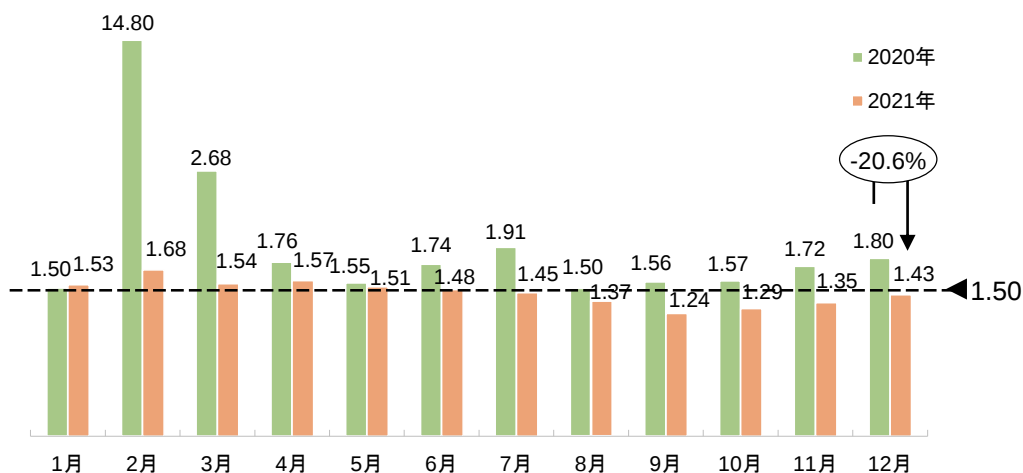
出所: 中国汽車工業協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザリー部作成

2 在庫

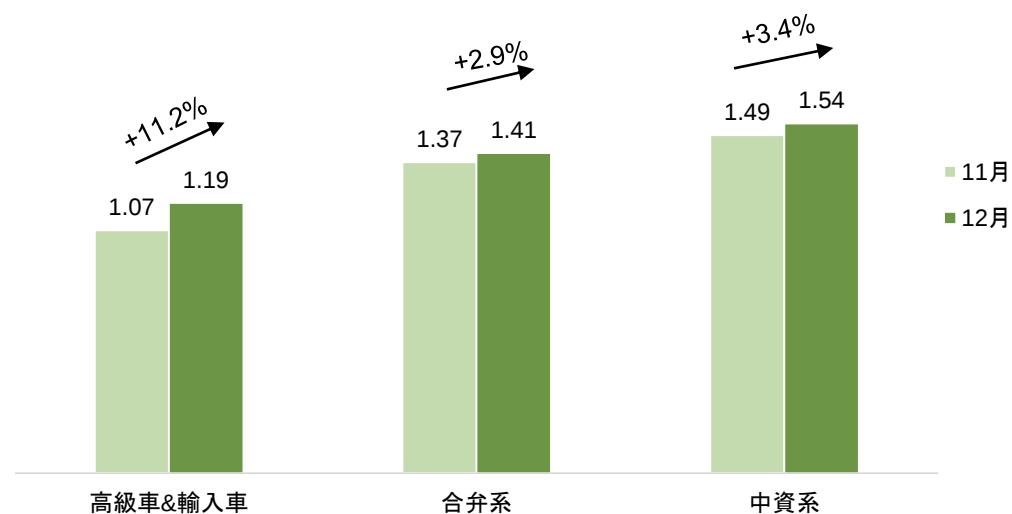
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **在庫係数**: 2021年12月のディーラー在庫係数は前年同月比20.6%低下、前月比5.9%上昇の1.43とやや上昇したものの、依然として警戒ラインを下回っている。半導体のひっ迫状況は落ち着き、生産も回復しつつあり、ディーラーは積極的に在庫確保に動いている。しかし、短期的には入荷待ちの状態にあるため、ディーラー在庫係数も低位に落ち着いている。
- **ブランドタイプ別**: 12月は例年、購入需要が高まることから、ディーラーも在庫を積み増し、中資系、合弁系、高級車ともに在庫は小幅上昇となった。高級車&輸入車の在庫係数は前月比11.2%上昇の1.19、合弁系は同2.9%上昇の1.41、中資系は同3.4%上昇の1.54。
- **次月の動き**: 完成車メーカーの年末商戦が終わり、ディーラーの販促活動も減少、春節前は消費者マインドもやや低下することから、ディーラー在庫量は小幅増となる見込み。

自動車ディーラー在庫係数(2020-2021)



ブランドタイプ別在庫係数(2021.11-12)



説明: 中国汽車流通協会は2010年7月より定期的に自動車ディーラーに対し在庫調査を行い、各メーカーの在庫状況及び業界の総合在庫係数を算出している(在庫係数=期末在庫数/当期販売台数)。在庫係数>1.5が警戒ライン。

出所: 中国汽車流通協会の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

3 新たに発売されたモデル(12月11日-1月10日)

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

No.	発売日	モデル	販売価格 (万元)	タイプ	排気量	航続距離 (NEDC標準)	メーカー
1	12.13	北京X7	11.49-14.99	SUV	1.5T	-	北京汽車
2	12.16	型格/ INTEGRA	12.99-16.69	セダン	1.5T	-	広汽ホンダ
3	12.17	魏牌拿鉄DHT	15.98-17.98	SUV	1.5T	-	長城汽車
4	12.18	哈弗神獸	13.00-16.70	SUV	1.5T、2.0T	-	長城汽車
5	12.21	威獅1949	15.59-20.99	ピックアップ トラック	2.0T、2.3T	-	中興汽車
6	12.28	QQ冰淇淋	2.99-4.39	軽型EV	-	120km、170km	奇瑞新能源
7	12.29	瑞風L5	15.58-16.78	MPV	2.0T	-	江淮汽車
8	12.30	帝豪L	9.99-10.99	セダン	1.4T	-	吉利汽車
9	1.02	A7L	45.97-51.97	セダン	2.0T	-	上汽Audi
10	1.06	鋒蘭達/Frontlander	12.58-16.98	SUV	2.0L	-	広汽トヨタ
11	1.10	威颯/ VENZA	21.68-30.38	SUV	2.0L、2.5L	-	広汽トヨタ

出所: 新浪汽車の資料に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

4 業界動向(12月11日-1月10日)

【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

No.	企業	主な動き
1	蜂巢能源	・ 12月11日、シリーズB+として60億元を調達。投資側は業界関連企業、投資機関、国有資産プラットフォームなどが参加。また、同社は2025年にグローバルの生産能力を600GWhまで拡大すると発表。
2	吉利汽車 力帆科技	・ 12月13日、吉利汽車は力帆科技と重慶にて合併会社を設立、自動車(電池交換タイプに限らない)の開発、販売等を行う。
3	国軒高科	・ 12月13日、国軒高科(002074.SZ)は公告を発表、2021年12月15日、VW(中国)投資が同社の第三者割当増資を引き受け、これによりVW中国は国軒高科の筆頭株主となった。
4	広汽集団	・ 12月14日、広汽集団(601238.SH)は公告を発表、子会社の広汽資本有限公司がWeRide Inc(文遠知行)に3,000万米ドルを投資、Robotaxi搭載の量産モデルの開発・製造を共同で推進する。
5	牛創新能源	・ 12月15日、小牛電動車創業者の李一男氏はNIUTRON(牛創新能源)を発表。江蘇省常州市に生産能力18万台/年の完成車工場を設置、2022年3月に小ロットでの試作を開始することを明らかにした。正式発売は2022年9月を予定。
6	一汽集団	・ 12月17日、中国一汽集団は日本市場でPHEVモデルを発表、2022年夏に日本で電動SUVを発売する予定。
7	BYD Daimler	・ 12月24日、BYDはDaimlerと共同で10億元を出資、騰勢ブランドの成長を後押しする。同時に騰勢の持分比率を調整、BYDが90%、Daimlerが10%とする。審査は2022年中に完了する予定。
8	江鈴Ford	・ 12月27日、江鈴福特汽車科技(上海)有限公司を設立、登録資本金は2億元。出資比率は江鈴汽車股份有限公司が51%、Ford Motor Companyが49%。
9	吉利控股 富士康(Foxconn)	・ 12月27日、山東富吉康智能製造有限公司を設立、登録資本金は1億元。浙江吉利産投控股有限公司と富泰華工業(深圳)有限公司の折半出資。世界の自動車及びモビリティ企業向けOEM生産及びカスタマイズのコンサルティングサービスを提供する。
10	華晨Renault	・ 12月30日、華晨Renault金杯汽車有限公司が生産を停止。債務超過状態にあり、従業員の給与や保険料を払うことができない。裁判所に再建計画申請書を提出済み。
11	東風INFINITI	・ 1月5日、日産との合併メーカーである東風INFINITI(DFI)は今後、独立事業部の1つとして東風日産(DFN)傘下に入り、日産やVenuciaと並んで東風日産の第3のブランドとして展開していくと発表。
12	東風ホンダ	・ 1月5日、新しいEV工場の建設を発表。ホンダにとっては世界初のNEV工場となる。武漢経済技術開発区に建設、2024年に稼働予定で、初年度の生産能力は12万台。

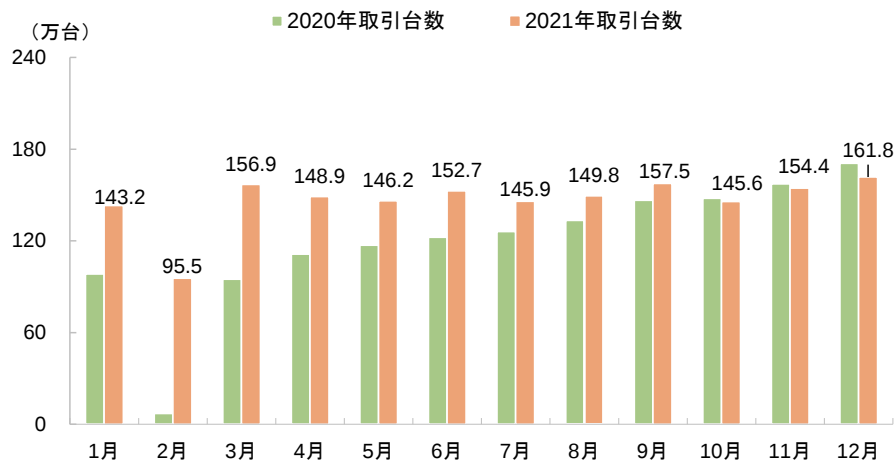
出所: 新浪汽車の情報に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー一部作成

5 中古車市場

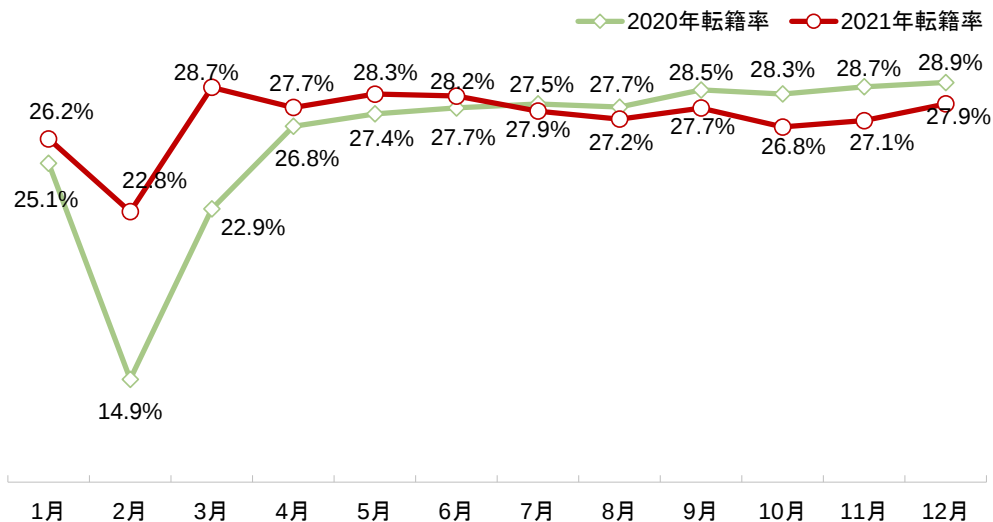
【中国自動車業界レポート(2021年12月)】

- **中古車取引台数**: 2021年12月、中国中古車市場取引台数は前年同月比5.3%減、前月比4.8%増の161.8万台、取引額は1,162億元。セダン、SUV、MPV共に前月比増となった。2021年通年の中古車取引台数は前年比22.6%増の1,758.5万台、取引額は同27.3%増の1兆1,317億元。
- **省を超えた流通状況**: 12月の転籍台数は45.1万台、転籍率は27.9%。転籍率は前年同月比1pt低下。
- **エリア別**: 12月、全国6大エリア全てで取引台数は前月比増。構成比では華東エリアが最大(32.4%)、次いで中南、西南等。

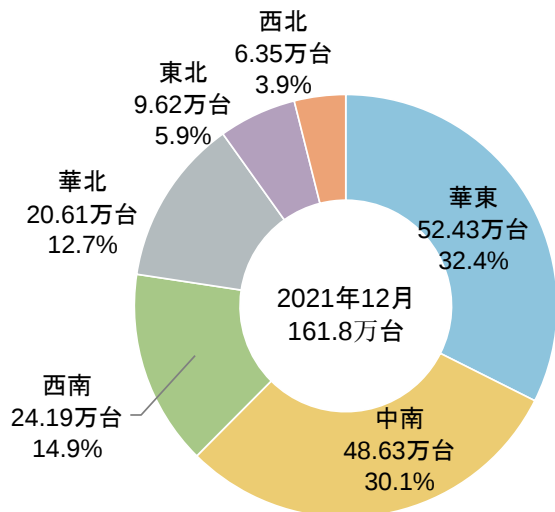
中古車月次取引台数(2020-2021)



中古車月次転籍率(2020-2021)



エリア別取引状況



出所: 中国汽車流通協会の発表に基づき、みずほ銀行(中国)中国アドバイザー部作成

みずほ銀行(中国) 中国アドバイザー一部

張 龍 (中) long.zhang@mizuho-cb.com

藤原詩帆 (日) shiho.fujiwara@mizuho-cb.com

石田方治 (中/日) masashi.ishida@mizuho-cb.com

Copyright © 2022 Mizuho Bank (China) , Ltd.

1. 本資料は法律上・会計上・税務上の助言を目的とするものではありません。本資料中に記載された諸条件及び分析は仮定に基づいており、情報及び分析結果の確実性或いは完全性を表明するものではありません。また、当行との取引においてご開示頂く情報、鑑定評価、各種機関の見解、また政策法規・金融環境等の変化によっては、本資料に記載の仮定やスキームと乖離が生じ、提示した効果が得られない可能性があります。本資料については、そのリスクを充分ご理解の上、貴社ご自身の判断によりご利用下さい。当行は本資料に起因して発生したいかなる損害について、その内容如何にかかわらず、一切責任を負いません。
2. 本資料中に記載された企業情報は、公開情報及び第三者機関から取得した情報に基づいて作成しており、当行が顧客との取引において知りうる機密事項や非公開情報等は一切含まれておりません。
3. 本資料中に記載された情報は、当行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。また、引用された出所元の資料及び文言に含まれる、または解釈される可能性のある意見や論評は、記載された出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。
4. 本資料の著作権は原則として当行に帰属します。本資料については貴社内部の利用に限定され、いかなる目的であれ、いかなる方法においても、無断で本資料の一部または全てを、第三者へ開示、または複写・複製・引用・転載・翻訳・貸与する等の行為について固く禁じます。